

名古屋文化学園保育専門学校 学校関係者評価者及び評価・意見

(令和3年度自己評価に基づく)

I 学校関係者評価 評価者

【業界団体】

公益社団法人 名古屋市私立幼稚園協会 前会長
國府谷 俊盛 先生 (旭キンダーの丘幼稚園園長)

公益社団法人 名古屋民間保育園連盟 副会長
宇都宮 美智子 先生 (中村保育園園長)

【他校、または他の教育機関兼務の本校非常勤講師】

春日井音楽院 前院長 花井 英一 先生

修文大学短期大学部幼児教育学科非常勤講師
牛田 弓子 先生

【卒業生】

平成14年度第2部卒業生
本多 伯舟 先生 (社会福祉法人 清涼会 理事長)

平成27年度第2部卒業生
伊藤 直 先生 (幅下幼稚園 園長)

II 各項目の学校関係者評価・意見

項目1 教育理念・目的・育成人材像

・項目1について、全般的に高い評価ができる。

1. 創立者の教育理念を具現化するために、女性の自立を理念の核とし、貴校の目的である幼稚園教員、保育士の養成のため様々な機会、場面、ツールを利用し学内外に「理念」を周知させている。また、各方面からの意見を幅広く求め、現代社会が求める人材を把握し、教育目標の適正な方向づけに努力している。また、新型コロナウイルス感染症の影響で滞りがちであった行事なども感染状況を見極め、積極的にウィズコロナを目指す姿勢が見られる。
2. 教育理念に沿った人材育成をされており卒業生の保育士は細やかな配慮が出来ている。貴校の学生が本園に実習に来る際も、挨拶等のマナーなど本園の保育士ともしっかりとコミュニケーションがとれている。コロナの影響で教育・保育実習反省会などは中止になったが、教員が保育園を訪問し、現場の状況の聞き取りがしっかり出来ている。教育理念や教職課程設置の趣旨等はホームページに掲載し明確にされている。
3. 創立者の教育理念の具現化と保育者としての社会的貢献・役割・責任と喜びを学校教職員全

体でしっかり継続されていることは高く評価できる。

4. 保育現場が求める保育者像は、求められる保育者の役割の多様化に伴い、多岐にわたるようになってきている。また、医療的ケア児保育支援事業が拡充されるなど、今まで以上に保育士に求められる技能が多様化していることを踏まえ、社会的ニーズの把握に努めてもらいたい。新型コロナウイルス感染症の影響が長期になる中、直接教育理念等を伝えるのが難しいと思うが、リモート会議等が一般化してきているので、活用していただき、更なる理念の周知に努めていただきたいと思う。
5. 保育者養成校として、「社会人としての自立」「女性の自立」を目標とすることは大変意義深いことと思う。そのため、より専門職としての保育者、女性の自立を果たすために、学生だけでなく養成校や幼児教育・保育施設と連携して、広く社会に向けた発信や活動を期待している。「社会のニーズ」と「子どもの豊かな発達や育ち」にズレが生じている。「社会のニーズ」を踏まえるといっ方方向だけでなく、養成校や幼児教育・保育施設と連携して、社会に向けても「子どもの豊かな発達や育ち」のための必要な政策・施策等を訴えていくなど双方向の活動を期待している。「教育保育現場のニーズ」が要領や指針とズレがある場合がある。「教育保育現場のニーズ」に向けるだけではなく、養成校が連携してこのズレを少なくしていく活動を期待する。

項目 2 学校運営

・項目 2 について、全般的に高い評価ができる。

1. 運営方針を学内関係者に周知徹底しており、各部署がそれをもとに組織整備され円滑に機能していることが確認できる。学内外問わずコンプライアンス体制、情報公開体制の整備がなされている。情報システム化も時代に則して整備され、各業務の効率化が図られている点も特筆すべき点である。
2. 運営会議・職員会議ともに（週 1 回）行なわれていて欠席者にも議事録を配布し職員全員で共有できている。運営組織に基づき事業計画・就業規則等十分に整備されていると評価する。SNS の更新が毎日行なわれており、教育現場の新着情報がしっかり伝わっている。教育活動は学校案内・学生要覧、ホームページや SNS で示していることで今の時代に沿った発信ができている。
3. 運営組織に基づき事業計画・就業規則等が十分に整備されていると評価する。
4. 情報公開について、ホームページや様々な SNS を使った情報発信が頻繁になされており、教育活動の様子や受験希望者のオープンキャンパスなどわかりやすく把握でき、高く評価できる。今後とも、学生の年代に合わせた情報発信に努めていただきたい。新型コロナウイルス感染症の影響が長期になっているので、リモート会議を活用した会合の実施等を検討していただきたいと思う。
5. 学校の教育理念の一つである「社会人としての自立」「女性の自立」を目指す上でも「産前産後休暇や育児休業等の就業の多様性に対応できる規定の整備」を進められていることが評価できるとともに、さらなる推進を期待している。データサーバー化など、業務の効率化を図ることは、職員の先生方が学生と向き合ったり、授業の計画や振り返りをしたりする時間の確保にもつながるため、大変重要だと思う。

項目 3 教育活動

・項目 3 について、全般的に高い評価ができる。

1. 教育理念に沿った教育課程の編成・実施が、適正な学科配置、キャリア教育、関連分野企業

との連携などを通して展開されている。活動評価も各方面から頻繁に実施され、その改善が適正に実施されている。教職員の資質向上も充実した研修体制で実施されている。教育、保育施設が多様化するなかで、教育・保育の現場も様々な対応を求められる時代となり、現場視点での教育方法の研究を進める体制に期待できる。また、学生の視点からの評価をアンケート方式で実施している点も評価できる。

2. カリキュラムも幼稚園教育養成課程・保育士養成課程に基づきしっかり教育していると評価する。教育活動において幼稚園教育要領・保育所保育指針に定められている5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）に力をいれているようで、実習時の子どもとの接し方や活動に活かされていると感じる。また、貴校独自のオペレッタ・音楽の授業は現場の保育士の中で非常に役立っている。一方、近年のアルバイトの学生が途中で辞めたり急に不定期で休みをとるなど、受け入れ園では対応に困ることが増えている。仕事をする責任感等も事前に学生教育に含めて頂きたい。また、就職ガイダンスを授業外で、第1部は2年間で14～15回、第2部は3年間で10回ほど実施して「職に就くことの重要性」や「社会のマナー」などを身に付けている点について、保育士がマナー教育を知りことは保護者の対応では重要な知識である。しかし、その知識が反映されてない生徒もいるので教育の仕方に再考の余地はあると思う。
3. 新教育課程の改善や領域を含めた新課程のカリキュラムの充実はシラバスからもよくわかり、高く評価できる。
4. 令和3年度はコロナ禍2年目にあたり、前後期ともに緊急事態宣言の発出により、オンライン授業に切り替えるという変則的なものだったが、Microsoft Teams による授業展開は前年度に比べてスムーズに行われていたように思う。フィードバックにより学生一人一人とやりとりができたのも良かった。今後とも続く with コロナの生活を視野に入れつつ、常に対面、オンラインと切り替えられる体制づくりを今後とも続けていただきたい。
5. 令和3年度から、長期履修生コースの学生のみのクラス編成がなされ、独自の教育課程を編成したことは、従来のように他のクラスの中に混ざり授業を受けるのではなく、自分のクラスとしての目標や見通しも立てやすくなりメリットが多いと感じた。長期履修コースの立ち上げ時点では少人数から始まったことを思うと長期履修生の増加は、保育を学びたい学生にとって経済的、年数的にもよい制度であり今後も人数確保が期待される。
反面、資質の様々な学生が入ってくることによる授業の困難さも感じている。コロナ禍という環境及び実習生の増加により実習施設の確保の困難さが指摘されているが、実習という現場で実践的に学び成長していく学生のために、今後とも様々な方法での実習先の確保を望みたい。
6. 授業に保育現場での実践的内容を多く取り入れていることは、大変高く評価できる。また、人間関係が希薄となる中、学校で「社会のマナー」を学ぶ機会を提供していることも素晴らしいことだと思う。
7. 令和3年度に領域に関する専門的事項に認可を受けたことが、保育者の専門性を高める上でも評価できる。

項目4 学修成果

- ・項目4について、全般的に高い評価ができる。
- 1. 専門職への就業率向上を目指し、また就職後の卒業生へのフォローも適切に行われている。特に新型コロナウイルス感染症の影響で自宅学習の場面が多くなる中で適切な学習指導がなされている。人材活用の点から長期履修コースや夜間部は、幼稚園、保育園にとっても望ましい制度であり是非継続を願うものである。
- 2. クラスセッションや就職ガイダンスが盛んに行われているようで、高い就職実績、就職指導

に専念する教職員を配置した体制により教育成果を高く評価する。

3. 校長ブログの活発な更新や充実ぶりは高く評価できる。園長先生や卒業生の園などへ訪問することで、今後、学校との関係がより深いものとなり実習などの協力園となればよい。
4. 幼稚園・保育園などの専門性を有する職場へ高い割合の就職率を維持できていることは、大変高く評価できる。就職先や実習先の園と連携がとれていることも高評価できる。良好な関係があればこそ、卒業生の動向、評価が把握できると思うので、今後とも幼稚園、保育園と連携をとっていただきたいと思う。

項目5 学生支援

・項目5について、全般的に高い評価ができる。

1. 就職・進学に関する支援体制、在学中のスクールカウンセラーによる相談体制が充実している。学生の健康管理、生活環境への配慮、保護者、卒業生に至るまでのきめ細やかな対応体制充実にも留意され、それに基づく安定した学生生活の様子が伺える。また、職業体験という視点から中学生、高校生に対する門戸開放を推進する体制があることは将来、幼稚園教諭、保育士を目指す生徒にとって心強い。
2. スクールカウンセラーの配置・奨学金制度においては貴学独自の制度があり学生支援も高く評価できる。卒業後も貴校の卒業生の様子を先生自らが確認に園を訪問する等しっかりケアができています。授業料を減額するなど、学生が学びやすい環境を整えていることが評価できる。ひとり暮らしをする学生向けにおいて住居の紹介をする等、学校がしっかりと対応されており学生が安心して学べる環境ができています。学生の精神面のケアの不足を感じる。生徒1人1人を早期の段階で面談等を行い細やかな対応が出来る事が必要と感じる。
3. 学生への経済的支援について、就学支援新制度の対象機関となったこと、日本学生支援機構の奨学金の他に文化学園の独自の奨学金制度が整備充実されていて、様々な環境の学生に対し門戸を開いていることは高く評価できる。そのことが学習意欲の向上につながるような指導をお願いしたい。
4. 学生が増えていることを鑑みて、今後、養護の資格を有している先生の配置も必要なことと考える。保育者は日々自分の健康管理が大切であり必要がないという考えもあるが、カウンセリングを受けるほどでもないが、日々の学生の心身の不調に気が付き言葉をかけてあげられる先生がいる健康管理室のような場所があるとよいのではないかと。
5. 貴校学生のみ対象の名古屋民間保育園連盟の就職相談会実施は、学生がじっくり話を聞く事ができ、有効であると思う。
6. 今後も、他の養成校や幼児教育・保育団体とも連携し、高等教育の無償化の対象を拡張したり、保育者養成校に特化した無償化制度などの構築をしたりできるよう行政等に働きかけることを期待している。

項目6 教育環境

・項目6について、全般的に高い評価ができる。

1. 附属幼稚園での実習はもとより、学内外、海外での実習プログラムが用意されている点は特筆すべきことである。ウィズコロナの環境へ移行しつつある昨今、コロナ前の展開へ回帰することを期待する。
2. PC教室・図書館が整備され、教育機器備品の充実、多様な学習環境の整備、防災体制など環境整備に配慮がある。
3. 夏休みを利用した、オーギーキッズ・マーメードウォーターズ幼稚園でのオーストラリア保育実習ツアーなど日本だけでなく海外研修にも目を向けている点は、国際社会の中質の高い人

材育成に役立っている。コロナ禍で中止になっていても次につなげる対応が出来ていることが評価できる。

3. 学生数にすばやく対応した教育体制・教育環境の整備は高く評価できる。

4. 保育現場ではICTの導入が進んでいる。経年劣化した機器の更新とともに、これらへの対応も進めていただければと思う。昨今、大規模災害が頻発している。また公共交通機関の運休による帰宅困難等も予想されるので、十分な非常食の備蓄に引き続き努めていただきたいと思う。

項目7 学生の受入れ・募集

・項目7について、全般的に高い評価ができる。

1. 高等学校、ハローワークなどへの情報提供や、各種メディアを使った情報発信を充実させている。入学選考は適正公平であり、納付金も妥当で奨学金制度のさらなる充実を目指している点も学生は心強い。
2. ホームページでの学校案内をはじめ、オープンキャンパスの体験授業や個別ピアノレッスン等を行っており高く評価できる。
3. オンラインオープンキャンパスを、高3対象コースなど3種類（学校説明、入試説明、体験授業）開設し、実施したことは意欲的で評価できる。
4. 少子化の影響のため、高校を卒業する生徒が減少する中、広報担当職員を起用することにより地域的にも幅広く学生募集ができていることは、大変評価できる。

項目8 財務

・項目8について、全般的に高い評価ができる。

1. 財務状況は安定的で、入学者も増加しており盤石なものと拝察する。
2. 借入金がない状態で推移しており、公認会計士による監査を行っているようで問題ないと評価する。
3. 評議員会・理事会の承認、公認会計士の監査そして情報公開までしっかりと行われていて高く評価できる。
4. 情報公開を行い、公認会計士の監査を実施しており、全体として高く評価できる。

項目9 法令等の遵守

・項目9について、全般的に高い評価ができる。

1. 各法令に沿って適正に運営されている。
2. 自己評価での問題点は毎年しっかり改善されている。
3. 個人情報保護の遵守は、学生が就職した後も重要な事なので、SNSの取扱とともに、引き続き指導をお願いしたい。

項目10 社会貢献

・項目10について、全般的に高い評価ができる。

1. コロナウイルス感染症の影響で例年行っている附属幼稚園、児童養護施設、障害者施設などでのボランティア活動が行えなかったのは止むを得ないと思う。保育現場での体験は大変貴重な学びとなるので、こうした活動もウィズコロナの考え方のもと、再開を期待するものである。
2. 教員免許状更新講習などコロナ下で大変難しい状況下だが、オンラインで行うなど対策しながらできることを継続していて評価できる。

全般的なこと、その他

- 全体的に高く評価できる。
- 学校の自己評価に賛同できる点があり、評価については問題ないと評価します。
- 毎年、学校自己評価を継続して行う（2020年度はコロナ禍の下での変則的な取り組みであった）ことにより様々な改善が図られ、特に教育内容の充実、広報の周知、学納金の減額及び修学支援による減免などが学生数の増加につながり、その成果は素晴らしいと思います。反面、資質の様々な学生が入ってくることによる授業の困難さも感じています。